

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 いろいろ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域に根ざした交流事業に力を入れ取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年地域の活動に参加させていただいている ・利用児童と地域児童が関わる活動を(月1回)を組み、たくさん関わることのできるプログラムをたてている ・ボランティアを積極的に受け入れている ・卒業生ともイベントや日々の活動で日常的に交流を図っている ・年に1回【感謝祭】を行い地域の方を招き、子どもたちや事業所の様子を見てもらっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報の活用を検討 ・SNSでの発信 ・地元企業との交流も計画中 ・再度市内の児童クラブとの交流を依頼
2	事業所内ケース会(月1回)行うことで職員間で対応方法の共有を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童一人一人に対し職員全員の様々な視点での気づきを共有している ・支援方法の統一を図っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内ケース会の継続 ・支援方法の統一 ・職員間の風通しを良くしていく
3	【ねらい】を持って活動やレクリエーションを立案したり、子供の意見も取り入れ活動につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと話し合いをし、意見、気持ちを尊重し、活動と一緒に考える機会を設けている ・【ねらい】を職員が把握できるようにしている ・季節に合った行事のイベントもを行い、日本古来の伝統文化も大切にしている ・子どもの経験値を上げられるよう工夫している 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の情報収集 ・活動を固定化しないように様々なことに挑戦

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	交流事業に力を入れており多数行っているが周知されにくい	<ul style="list-style-type: none"> ・『活動』=『交流事業』という事に結びついていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への伝え方発信の仕方の見直し ・市の広報の活用を検討 ・SNSの発信を継続
2	子どもたちが使う【道具】【おもちゃ】の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが視覚的にわかりづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに細かく収納場所を決定し視覚的に明確化 ・定位置管理を実施
3			